

計画概要の振り返り

1. 一般概要

資源ごみ処理施設は、市内 2 箇所（相原地区、上小山田地区）に分散して配置します。これにより、ごみ収集・運搬の効率化を図り、収集車の集中を避け、交通渋滞等地域への負担を軽減します。また、資源ごみを安定して資源化するために、施設の代替性と補完性を備えます。更に、地域住民による減量活動を推進し、ごみの資源化への関心を高めることを目的とします。

2. 施設規模

資源ごみ処理施設 26.2 t/5h

【内訳】

容器包装プラスチック	: 10.7 t/5h
ペットボトル	: 2.9 t/5h
ビン	: 9.4 t/5h
カン	: 3.2 t/5h
トレイ・紙パック	: 選別・保管
有害ごみ（乾電池・蛍光管等）	: 選別・保管
製品プラスチック	: 選別・保管
使用済み小型家電電子機器	: 選別・保管

3. 計画諸室

計画諸室は運転・維持管理、日常動線、居住性及び見学者対応等を考慮した配置とし、以下の室を表の面積及び使用人数に準じて適切な広さで計画します。

室(スペース)名	面積	利用人数の目安	設計指針
エントランスホール	約 200 m ²	—	・風除室を設ける。
職員通用口	—	—	・表玄関とは別に設け、傘立てを設置する。
事務室	約●●m ²	約●●人	・左記人員の継続的執務に必要な面積を有し、来客から分かりやすい位置に受付カウンターを設ける。 ・書類キャビネット等のスペースを考慮する。 ・事務スペースは OA フロアとする。
センター長室	約 30 m ²	—	・応接室に近接した位置に設ける
応接室	約 30 m ²	—	・事務室に近接し、来客が入りやすい位置に設ける
会議室	約 36 m ²	—	・事務室に近接した位置とする。 ・周辺住民による利用も考慮した位置とする。
書庫	約●●m ²	—	・事務室に近接した位置とする。
物品倉庫	約●●m ²	—	・事務室に近接した位置とする。
更衣室	約●●m ²	男性：●人 女性：●人	・男女別とし、個人ロッカーを設ける。
休憩室	約●●m ²	—	・自動販売機設置用のコンセントを設ける。
警備室	約●●m ²	約●●人	・職員通用口に面した位置に設ける。
シャワー室	約●●m ²	約●●人	・3 階に職員が利用するシャワー室を設ける。
洗濯乾燥室	約●●m ²	—	・洗濯機パン、手洗いを設ける。

室(スペース)名	面積	利用人数の目安	設計指針
湯沸室	各 5 m ² (2・3階)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者ホールと近接した位置とする。 ・事務室に近接した位置とする。
トイレ	各階約 50 m ² (2・3階)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別とし、見学者ホール及びエレベーターホールと近接した位置とする。 ・多目的トイレ（みんなのトイレ）を設ける。
見学者ホール	約 190 m ²	約 80～ 120 人 (小学校 3 クラス分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・2 階へ設け、階段・エレベーターに近い位置とする。 ・見学者説明用の音響・映像設備（パソコン対応タイプ）を設ける。 ・遮音性能には十分に配慮し、十分な性能を確保する。
見学スペース	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下と兼用してもよい。
情報展示スペース	約 80 m ²	—	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習用の展示物（別途工事）に必要な設備（照明、コンセント、スピーカー等）を、市と協議の上、設けること。 ・見学スペースに面した位置へ設ける。 ・廊下と兼用してもよい。 ・施設模型を作成の上、展示すること。
多目的ホール	約 90 m ²	—	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として外部に面した位置とする。
防災備品倉庫	約 20 m ²	—	<ul style="list-style-type: none"> ・計画中の建屋 1 階に整備し、物資の搬出入がしやすい位置へ計画する。また外扉を設ける。 ・非常用コンセントを設ける。 ・収納棚（別途工事）を設置するスペースを設け、備品を保管できるように計画する。